



# みんなで力を合わせて「自然観察体験学習」 「米づくりの学習」は種まきから

村木沢小学校は恵まれた自然を活かした活動が盛んです。自然観察体験学習は全校児童で一泊二日の活動に臨んでいます。また、今年で30年目になる米づくりの学習では、種まき作業から始めました。

## 山形市立村木沢小学校

自然観察体験学習は、なかよし班を主体として全校児童で行われます。主な活動内容は、励まし合いながら頂上を目指す「白鷹山ウォークラリー」、学校から自然の家まで人っ子一人通らない林道を歩き通す「桜ヶ丘ウォークラリー」、協力して作り上げる「野炊」の3種類で、3年周期で行っています。

なかよし班は、1年生から6年生までの縦割り班で、6年生の人数分の班があります。6年生全員がリーダーとなり、5年生はサポート役として6年生を支えています。他の学年も班の中でそれぞれの役割をもち、清掃、集会、体験学習などの様々な場面で一緒に活動します。

このように、常日頃なかよし班で活動しているので、低学年の児童でも決して弱音を吐かず、安心してみんなと一緒に体験学習に臨むことができます。

自然観察体験学習のねらいとしては、「自主的・主体的な活動を計画し、実践することを通して、仲間意識を高めるとともに、力を合わせてやり遂げる喜びを味わう」ことにありますが、学年部ごとにもねらいを決めて取り組んでいます。

### 自然観察体験学習の各学年のねらい

- 【低学年】 中・高学年の活動の様子を見たり、聞いたりしながら、自分のできることに一生懸命に取り組む。
- 【中学年】 高学年の活動の様子を見たり、聞いたりしながら、進んで協力して活動に取り組む。
- 【高学年】 高学年のリーダーとしての自覚と責任を持ち、楽しく豊かな活動を計画し、工夫して実行する。

米づくりの学習は、地域の方々の協力のもと、5年生が中心となって全校児童で行っています。これまでは、田植えから始めていましたが、今年はより学習を深めるため、種まきから行いました。田植えや稲刈りは全校児童で行い、収穫した米は11月に開催される収穫感謝祭で餅にして、子どもたちや地域の方々へ振る舞われます。

その他にも、畑の学習も行っており、各学年で様々な野菜を育てています。育った野菜は、食べるだけでなく、健康的な食生活のあり方を学んだり、みそや豆腐などの加工食品を作って収穫感謝祭で販売したり、収益金を震災募金として寄付したり、多方面にわたる学習活動を進めています。



今年の自然観察体験学習は白鷹山ウォークラリーでした。みんなで仲よく活動できました。



いろんな作業の中で、たくさんの方々の地域の方々とかかわりながら、育てていきます。

### 米づくりの学習予定(平成24年度)

- 4月 種まき・苗床づくり [5年]
- 5月 田植え [全校]・除草剤散布(見学)
- 7月 作溝見学 [5年]
- 9月 稲刈り・杭がけ [全校]
- 10月 稲返し [5・6年]・脱穀の歴史体験(カラハシ、千歯、足踏み脱穀機、唐箕、電動脱穀機) [5年]
- 11月 収穫感謝祭 [全校]